災害時支え合いマップづくり

　災害時支え合いマップは、災害時に誰かの助けを必要とする人、支援できる人、避難所などの情報を落とし込んだ地図で、いざという時の安否確認や避難支援を行うための手段として活用するものです。
　「備えていてよかった」と言える地域づくりを「今」はじめましょう！

転倒しやすい高齢者の方は一緒に避難したほうがいいわね。

障がいのある人や外国人には避難情報がきちんと伝わるだろうか…
声かけが必要かな。

災害時支え合いマップづくりの進め方

作成の際には社協職員がお伺いしお手伝いさせていただきます。
作成に必要な地図や資材についてもご用意します。

≪目的≫ ・避難に支援を必要とする人が取り残されない地域をつくる。
・一人ひとりが災害を自分事として捉えて対応する地域をつくる。
・日頃からつながり、支え合う地域をつくる。

≪手順≫

目安時間	内　容	
30 分	①災害時の要支援者を把握する	避難行動要支援者名簿などを確認し、情報共有を行う。 災害時にどのような支援が必要か確認する。
15 分	②支援協力者を決める	要支援者の支援に協力してもらえそうな人を洗い出す。
15 分	③避難所、危険箇所を確認する 避難経路を検討する	ハザードマップを見ながら、避難所と危険箇所を確認し、避難経路を考える。
15分	④支援体制リストを作成する	支援が迅速に行えるよう、マップ上の情報をリストに落とし込む。
作成後	マップの更新、活用	年１回を目安に更新する。 平時における見守り活動(ケアネット活動)や、マップにもとづいた避難訓練に活用。

【問合せ先】南砺市社会福祉協議会　地域福祉課　TEL82-0906